

## 第1学年 体育科学習指導案

### 1 単元名 表現リズム遊び ～みやしょうどうぶつえんにれっつごお！～

#### 2 運動の特性

##### (1) 一般的特性

身近な題材の特徴をとらえて、そのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりすることが楽しい運動遊びである。

##### (2) 児童の実態

～省略～

#### 【考察】

##### A 「知識及び技能」について

1年2・3組の子どもは、今まで何かになりきって遊んだことがない子どもが約30%いる。経験のある児童は、動物やヒーロー等、様々なものになりきったことがあった。幼稚園や保育園に、表現リズム遊びの経験があるかどうか聞いたところ、年少時に少しごっこ遊びを経験したり、音楽にのって体操したりするくらいしか経験がない。よって本単元では、イメージバスケットから動きのイメージを広げたり、友達のよい動きを共有したりすることで、表現遊びの特性に触れられるようにしたい。

何かになりきったり、リズムに合わせて踊ったりするときに大事なことは、先生の話をよく聞いたり、友達をたたかなかったり、きまりや約束が大切だと答える子どもが多かった。題材の特徴を捉えて、そのものになりきったり、全身を使って踊ったりすることが大切だと答える子どもはいなかった。よって本単元では、毎時間ごとに小テーマを設け、リズムの違いや動きの違いを感じたり、見付けたりすることができるようにする。また、動きを引き出すために、2学級合同学習のメリットを生かして、二人の教師が動きを引き出すために言葉がけを工夫していきたい。そうすることで、子供たちが生き生きと表現リズム遊びの特性に触れることができるようになると思う。

##### B 「思考力、判断力、表現力等」について

学習中に仲良く学習することができる、全員が答えている。日頃の生活の様子を見ている、相手が嫌がるようなことをしたり、相手を叩いてしまったりする子どもはほとんどいない。仲の良い友達とならと答えている子どもが、誰とでも学習できるようにペアやグループの組み方を工夫していきたい。

学習で楽しかったことを言ったり、友達の良いところを見付けたりすることが苦手だと答えている子どもが数名いる。低学年の子どもは、まずやってみて、楽しかったと感じたことが次時のめあてになると考える。よって、自分が楽しいことを書いたり、言えたりすることが大事だと考える。まだ平仮名を全て習っていない時期でもあるので、自分の言葉で友達に伝えられるようにしたい。友達の良いところを見付けることで、さらに動きが工夫されたり、違う楽しさを見付けたりすることができるので、ペアやグループでの活動で見合う時間を取り入れたい。

C 「学びに向かう力、人間性等」について

1年2・3組の子どもは体を動かすことは好きで、休み時間も全員が外遊びに出ている。しかし、体育の学習になると、「どちらかと言えば嫌い」や「嫌い」等が増加する。理由を聞くと、「何となく」や「楽しいけど嫌い」といった理由だった。このことから、体育の学習とはどのようなものなのか、まだ理解していないという現状がある。よって本単元では、どの児童も体育の学習が楽しく、好きだといえるような授業を目指したい。

3 研究主題と研究の視点

(1) 市教研体育部会の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 視点と学習の手立て

視点2 一人一人のよさを伸ばし、かかわりを通して運動の特性に触れる楽しさを実感する手立てを工夫する。

○2学級合同学習による、動きやかかわり方の幅の充実

子どもたちは、今まで何かになりきって遊ぶ経験が少ない。また、友達とのかかわり方も、仲の良い友達とだけかかわるといふ様子が見られる。小学校に入学してまもない時期であることから、どの学級、学校でも同じような様子であることが考えられる。

そこで本単元では、2学級合同で学習を進めることで、動きや友達とのかかわりがより充実できるのではないかと考えた。1学級で行うよりも、子どもの踊り方に違いが生まれ、それを共有、称賛し合うことで、さらにより踊りへと工夫される循環が生まれると考えた。また、2学級合同で学習を行うことで、誰とでもペアを組んだり、互いの良いところを見付け合ったりする経験を多く踏むことができ、さらに多くのかかわり方ができると考えた。

<予想される2学級合同学習によるメリット・デメリット>

	メリット	デメリット
1学級での実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が子どもの動きを把握しやすい。</li> <li>・気心の知れた友達と踊るので、恥ずかしさが軽減される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから発想が出にくい。</li> <li>・動きの幅が狭くなる。</li> <li>・一人の教師のみの視点なので、良い動きをしている子どもを見逃してしまう。</li> </ul>
2学級での実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発想が多く、動きの幅が広がる。</li> <li>・様々な友達とかかわる経験を多く踏むことができる。</li> <li>・複数の教師の目で見ることができ、称賛できる回数が増える。また、互いの指導法を学ぶ機会にもなる。</li> <li>・教師の模範を見られる回数が増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動する場所が制限される。</li> <li>・全体の場で発表する機会が減る。</li> <li>・共通理解を図る時間がかかる。</li> </ul>

ここに焦点を当て、授業を構成します

## ○イメージバスケットの工夫

### (1) イメージバスケットを作成する指導方法

1年生の6月の学習なので、自分で文字を書いたり、文字を読み取ったりする力もまだまだ未成熟なことが予想される。オリエンテーションの時間内にイメージバスケットを作成することは難しい。そこで本単元では、イメージバスケットを充実させ、表現遊びの特性に触れやすくするために、生活科等と教科横断的に学習を行う。

・生活科 内容(7) 動植物の飼育・栽培

関心・意欲・態度…身近な動植物に関心をもって関わろうとしている。

身近な環境や自分についての気づき…動植物の特徴に気付いている。

以上の内容に沿って、時間を確保し、イメージバスケットを作るようにしたい。

### (2) 資料の充実

動物のイメージを広げるために、図書資料や映像資料を積極的に活用する。色々な生き物を知ることができたり、映像資料を見ることで、動物の動きをイメージしたりすることで、子どもたちの動きの幅が広がるようにしたい。

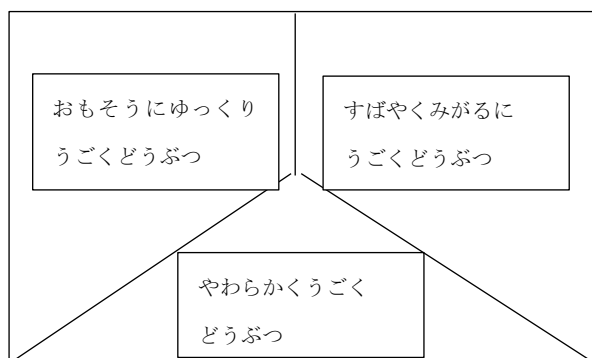
<使用する資料>

- ・小学館の図鑑NEO [新版] 動物
- ・小学館の図鑑NEO [新版] 動物(DVD)

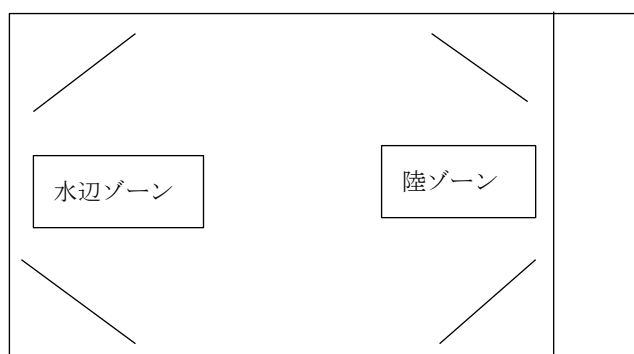
### (3) イメージバスケット作成の手順、掲示方法

イメージバスケットを作成するには、以下の手順を踏んで作成する。

- ①一人ひとりが、自分が思いつく動物やそのイメージを絵や文字でかく。
- ②さらにイメージを膨らませるため、図書資料や映像資料を使い、イメージを広げる。
- ③膨らんだ個人のイメージバスケットを、クラスでまとめる。  
※クラスでまとめるときに、仲間分けをしながら分類する。
- ④体育館の入口側を水辺ゾーン、ステージ側を陸ゾーンとし、イメージバスケットを掲示する。



<クラスでまとめたイメージマップ例>



<体育館でのイメージマップ掲示案>

個人のイメージバスケットからクラスのものへと広げることで、自分なりの思いを持って、表現遊びに取り組めると考える。また、イメージバスケットを海と陸の二つに分けることで、動きの幅がさらに広がり、表現遊びの特性に触れる楽しさを感じることができると考える。

視点3 一人一人の子どもが進んで学習に取り組む評価を工夫する。

○発達段階に応じた学習カード（振り返り）の工夫

低学年、特に1年生では、自分のめあてが何かを考えることは難しい。千葉市教育委員会から出されているめあて学習の実践例では、めあての3要素として①めあてを決める②遊び方を選ぶ③活動すると示されている。しかし、経験の乏しい1年生では、目標や活動を選択することは難しいので、まず活動することが大切であり、活動したことがめあてだと捉えることができる。よって、本単元では、活動したことを子どもなりに絵や文字で残せるように学習カードを工夫する。本時の振り返りを絵や言葉でかくことで、次時の動きにつながり、より一層全身を使って踊ることができる。また、次時に踊ってみたい動物を書くことで、次時にどのような活動をしたいか見通しを持つことができる。本時の活動を絵や文字でかき、次時のやってみようを簡単に残すことで、段階を追って、低学年としてのめあてを持つことができるようになると考える。

#### 4 学習のねらい

- 表現リズム遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って踊ったり、身近な題材の特徴を捉えて全身で踊ったりすることができるようにする。 【知識及び技能】
- 身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- 運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】





#### 5 評価規準



	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう態度
学習活動に即した評価規準	①表現リズム遊びの行い方を知っている。 ②軽快なリズムに乗って弾んで自由に踊ったり、友達と調子を合わせて踊ったりすることができる。 ③動物等の特徴を捉え、踊ることができる。	①ロックやサンバなどのリズムに合った動きを見つけたり選んだりしている。 ②動物等の特徴や様子を捉えた具体的な動きを見つけたり選んだりしている。 ③ペアの友達の良かった動きを見つけている。	①表現リズム遊びに進んで取り組みようとしている。 ②決まりを守り、誰とでも仲良く踊ろうとしている。 ③運動をする場の安全に気を付けている。

6 学習過程（本時4／5）

	1	2	3	4（本時）	5
0 ↓ 4 5	オリエンテーション ○表現リズム遊びの進め方について知る。 ○リズム遊びと表現遊びを試しに踊る。	○ダンスウォーミングアップ（猛獣狩り、体でじゃんけん等） ○リズム遊びのめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             軽快な曲に乗って、全身で弾んで踊ったり、友達と自由に踊ったりして楽しむ。           </div> ○表現遊びのめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             動物に変身してお気に入りの動物を選び、友達と仲良く踊ったり、見せ合ったりして楽しむ。           </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             重そうにゆっ くり動く動物 ・のっしのっし           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             素早く身軽に動 く動物 ・びよんびよん           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             やわらかく動 く動物 ・くやくにや           </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto;">             まとめ           </div>			
知・技	①		②		③
思・判・表		①	②	③	
主体的	③	②		①	

7 学習活動と支援

<p>は じ め</p>	<p>○学習のねらいと進め方について見通しを持つ。 ○学習の仕方やマナーについて知る。 ・みんなで楽しく学習していくための約束 ・学習カードの使い方 ○教師と一緒に踊る。 ○イメージバスケットを作る。 ◇表現リズム遊びの行い方を知っている。【知識及び技能①】 ◇運動をする場の安全に気を付けている。【主体的③】</p>	
	<p>学習活動と内容</p>	<p>教師の支援 (T①T②) と評価 (◇)</p>
	<p>1 ダンスウォーミングアップをする。 ・猛獣狩り ・体でじゃんけん</p> <p>2 学習のめあてと進め方を確認する。</p>	<p>○心と体を解放できるよう、教師が率先して動く。 ○友達とうまく関わっていない子どもには、教師が間に入り他の友達と一緒にできるようにする。 ○ルールやマナーを守ることが楽しさにつながることを確認する。</p>
<p>リズム遊びのめあて</p>		
<p>軽快な曲によって、全身で弾んで踊ったり、友達と自由に踊ったりして楽しむ。</p>		
<p>な か</p>	<p>3 リズムや曲調の違う曲をリレー形式で流し、全身でリズムに乗ってみんなで踊る。 ＜2時間目＞♪『ロック調』♪ ・おへそをたてに動かす ・スロー、ストップなど速さに変化をつける ・手拍子やかけ声をしながら踊る</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>跳ぶ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>回る</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>跳ねる</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ねじる</p>  </div> </div>	<p>○2時間目はロック調、3時間目は前時で踊ったロック調の特徴的な部分を踊ってから、沖縄風の曲を踊るようなリレー形式にして、それぞれのリズムや曲調の良さを感じさせるようにする。 T②動くためのヒントとなるように、情景描写を伝えたり、模範を示したりして曲の特徴を踊るように促す。 T①リズムに乗ることができない子どもには、友達の動きを真似するよう声をかけたり、少しでもリズムを感じながら動けたら褒めたりして、自信が持てるよう助言する。 ○リズムを感じながら全身で弾んで踊ったり、友達と自由に踊っている子どもを称賛する。</p>

<p>&lt; 3 時間目 &gt; 『ロック調』 → ♪ 『沖縄風』 ♪</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おへそを中心に、横に揺れる</li> <li>・指先までリズムを刻む</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">横揺れ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">リズムを刻む</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>&lt; 4 時間目 &gt; 『ロック調』 → ♪ 『サンバ調』 ♪</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツーステップやサンバステップ</li> <li>・おへそを前後に揺らす</li> <li>・手や肩、首などの体の部分を揺らす</li> </ul> <p>&lt; 5 時間目 &gt;</p> <p>ロック調、沖縄風、サンバ調の曲を続けて流し、リズムに乗ってみんなで踊る。</p> <p>4 表現遊びのめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>めあて 動物に変身してお気に入りのものを選び、友達と仲良く踊ったり、見せ合ったりして楽しむ。</p> </div>	<p>○曲が変わってもうまく乗れない子どもには、そばで一緒に踊りながらリズムの特徴を助言したり、おへそを中心にして弾んで踊るよう声を掛けたりする。</p> <p>○恥ずかしがり、うまく踊れていない子どもには、教師が手を取り一緒に踊る。</p> <p>◇ロックやサンバなどのリズムに合った動きを見付けたり選んだりしている。【思・判・表等①】</p> <p>◇決まりを守り、誰とでも仲良く踊ろうとしている。【主体的②】</p> <p>◇軽快なリズムに乗って弾んで自由に踊ったり、友達と調子を合わせて踊ったりすることができる。【知識及び技能②】</p> <p>◇表現リズム遊びに進んで取り組もうとしている。【主体的①】</p>
<p>5 いろいろな題材の動きに親しむ。</p> <p>&lt; 2 時間目 &gt;</p> <p>「重そうにゆっくり動く動物」…のっしのっし手足の動きや速さを意識しながら踊る。 (予想される題材例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾウ→ゆっくり動き鼻を動かす手足の動き</li> <li>・キリン→ゆっくり歩き、首をのばす動き</li> <li>・クジラ→</li> </ul> <p>&lt; 3 時間目 &gt;</p> <p>「素早く身軽に動く動物」…ぴよんぴよん体を上下左右に動かし、弾んだり身軽に動く (予想される題材例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カエル ⇒ 体を上下に弾ませる動き</li> <li>・カンガルー⇒親子で息を合わせて弾む動き</li> </ul>	<p>T①動きのテーマを確認して、本時に表現したい題材への意欲を持たせる。</p> <p>T①前時までの良い動きを想起させ、本時の動きに取り入れるように助言する。</p> <p>T②体育館に貼ってあるイメージバスケットを常時見るように促し、イメージバスケットにかかっている絵や言葉から、イメージを膨らませていくように確認する。</p> <p>T②動物園の楽しい雰囲気を味わわせるためにBGMを流す。</p> <p>T②題材の特徴を捉えさせ、その特徴にふさわしい人数で踊ってもよいこととする。</p> <p>T①題材の様子や鳴き声を擬音語や擬態語（ガオー、ふわふわ、によろーん等）で口にしながら動くと雰囲気が出て様子が分かりやすいことを伝える。</p>

<p>&lt; 4 時間目 &gt;</p> <p>「柔らかく動く動物」…くによくにや 体をくねらせたりねじったりして踊る。 (予想される題材例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘビ⇒体をくねくねとくねらせる動き</li> <li>・イソギンチャク⇒くねくねの緩急をつける</li> </ul> <p>6 自分が選んだ題材を、動きの変化をつけて、友達と一緒に踊ったり見合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアや同じイメージの題材を選んだ友達と踊って楽しむ。</li> </ul> <p>8 学習のまとめをする。</p>	<p>○題材の特徴がよく現れている児童を称賛し、良いところを真似たり、一緒に踊らせてみたりするよう支援する。</p> <p>◇動物等の特徴や様子を捉えた具体的な動きを見付けたり選んだりしている。</p> <p style="text-align: right;">【思、判、表等②】</p> <p>T②ペアを作る際には、同じ題材を選んだ中で他のクラスとなるように促す。その際、男女でペアを組んでいるペアを称賛する。</p> <p>T①選んだ題材の動きに変化をつけて、続けて踊るよう指示する。</p> <p>○体育館の一か所に固まらないように子供たちに指示する。</p> <p>◇動物等の特徴を捉え、簡単なお話にして踊ることができる。【知識及び技能③】</p> <p>○上手く動けていないペアには、相手の動きを見させ、その次の動きを考えていくように個別に助言する。また、動きが止まっているペアには、良い動きを紹介して、真似してもよいことを伝える。</p> <p>○友達の良いところを探すように助言し、話の内容を想像しながら見るように助言する。</p> <p>◇ペアの友達の良かった動きを見付けている。</p> <p style="text-align: right;">【思、判、表等③】</p> <p>T①学習カードの項目に沿って振り返りをし、楽しく変身できた動物をかくよう指示する。</p> <p>T①活動を振り返り、次時にやってみたい動物を書くよう声を掛ける。</p>
<p>ま と め</p> <p>○学習の振り返りをする。</p> <p>○工夫した題材の動きを見せ合ったり、全体で「みやしょうどうぶつえんにれっつごー！」をしたりする。</p>	<p>○リズム遊びでは、動きの宝箱をポイントにして踊るように助言する。</p> <p>○前時までのテーマの動きを全体で確認する。</p> <p>○3つのテーマごとの良さを感じながら動きを工夫する助言する。</p>